【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和1年10月3日(2019.10.3)

【公開番号】特開2018-79092(P2018-79092A)
【公開日】平成30年5月24日(2018.5.24)
【年通号数】公開・登録公報2018-019
【出願番号】特願2016-223592(P2016-223592)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｎ　1/32　(2006.01)
Ａ６１Ｈ　23/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｎ　1/32
Ａ６１Ｈ　23/02　３８６

【手続補正書】
【提出日】令和1年8月26日(2019.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
肌面に当接して刺激を付与する刺激面（３ａ）を含む肌刺激体（３）と、肌刺激体（３）に物理的な美容刺激を付与する肌刺激源（１１６）と、肌面の異常を光学的に検知する肌異常検知部（８８）とを備えており、
肌異常検知部（８８）は、肌面の被測定部に正対する測定部（１４３）を含み、
刺激面（３ａ）と正対する正面視において、測定部（１４３）が刺激面（３ａ）の外郭線の内側に配置されていることを特徴とする美容器具。
【請求項２】
肌異常検知部（８８）が肌面の異常を検知した場合に、肌刺激源（１１６）の出力を増強させる請求項１に記載の美容器具。
【請求項３】
音と光と振動のうち少なくともひとつを発生する報知体（８９）を備えており、
肌異常検知部（８８）が肌面の異常を検知した場合に、報知体（８９）を作動させる請求項１または２に記載の美容器具。
【請求項４】
肌刺激体（３）の刺激面（３ａ）の中央部に測定部（１４３）が配置されている請求項１から３のいずれかに記載の美容器具。
【請求項５】
肌刺激体（３）が導電体で形成されて、刺激面（３ａ）が肌面に当接したことを検知する肌検知センサを構成しており、
肌検知センサの検知信号に基づいて、肌異常検知部（８８）の駆動状態が制御される請求項１から４のいずれかに記載の美容器具。